

より快適に宇宙に行こう！

3班 メンバー

- ・中野敦志
- ・半澤輝尚
- ・平野みちる
- ・木村慎吾

背景・目的

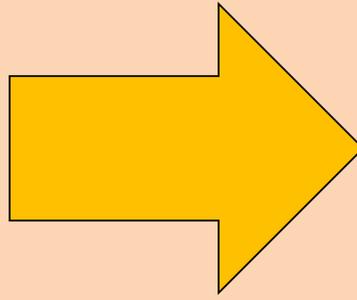
宇宙開発は急速に進歩しており民間人が宇宙に行くのも時間の問題とされているが、コストや宇宙空間の中での生活には課題がある。そこでより快適に万人を宇宙に運ぶことをテーマとしビジネス化できるかを調査した。

調査結果

1 輸送システムの開発

現在の輸送システム＝化学ロケット

液体燃料ロケット
固体燃料ロケット

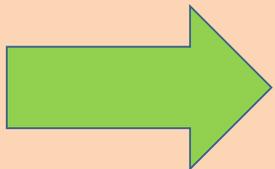


ハイコスト

一回打ち上げ：100億円

そこで

宇宙エレベーター



高速化・低価格

2 宇宙食開発

株式会社マルハニチロによると...

「生産原価が高く、数量も少ないため利益を見込めない。しかし規模が大きくなればビジネスとして成り立つ。」

3 提言

輸送システムの
進歩による
民間の宇宙進出

相互作用

宇宙食の開発
及び大量生産